

【質疑と回答】

質問	資料番号	該当ページ・内容など	ご意見・ご質問	町の考え方
①	資料1	P1 決算状況	地方債が増加し、大手企業が加古川へ移転した事もあり、今後税収が減少していくと思います。それに対する策は何かあるのでしょうか。(行政サービスの維持・向上等質を落とさず)	既存の商工業を振興する事業を継続するとともに、新たな工業用地を確保する取り組みを進めています。税収の減については、企業版ふるさと納税制度を活用するなど、行政サービスの維持・向上を図る取り組みを行います。
②	資料1	P1～P4 決算状況 経済収支比率・実質公債比率・将来負担比率の対前年度比較	コロナ関連を含め、適正に対応できている。良好な状況である。	引き続き、適正な財政運営に努めます。
③	資料1	P2～P4 経済収支比率・実質公債比率・将来負担比率の対前年度比較	コロナ禍による歳入・歳出増と貯金減、借金増の実情は判ったが、稲美町は弾力性ある少ない借金、将来性豊かで平均的な職員給与等に財政改革し易い環境下にあることが確認できた。 人口:3.5万人目指す等の絵に書いたモチに終えることなく是非に人づくり、町づくりへの投資を期待する。	令和4年に新たに策定した人口ビジョンでは、令和13年には、人口28,000人と想定し、人口減少の抑制を図ることを目指しています。 この目標に向けて、各事業を実施してまいります。
④	資料1	P3 実質交債比率の対前年度比較	実質公債比率が県下で13番目に良好な数値となっている原因は何ですか。	実質公債比率については、借入金(地方債)の返済額の大きさを指標化したもので、平成17年度以降、減少が続いています。 主な理由としては、文化の森の施設立地に係る借入金の返済が進んだこと、また、各主要事業を実施していくうえで、起債の発行を控えるなど、健全な行財政改革を進めたことが考えられます。

質問	資料番号	該当ページ・内容など	ご意見・ご質問	町の考え方
⑤	資料1	P5 ラスパイレス指数	給与水準について、この水準の高さは必要ですが、これは職員の給与水準。会計年度任用職員・再任用の水準アップも必要である。(責任の重さの違いはあるのだが)	会計年度任用職員・再任用の給与水準については、正規職員の給与表を基に算出しており、適正な給与水準であると考えております。
⑥	資料2	P3～P11 取組項目(全項目)	取組項目(改革の内容)について、実施が80%以上を超える。前向きに検討し、実施できている。実施率100%をお願いします。	各事業、実施率100%を目指して取り組んでいます。引き続き100%を目指すために事業の推進・啓発行ってまいります。
⑦	資料2	P6～P7 (3)多様な協働の推進 17.住民協働による介護予防の推進	いきいきサロンについて年々利用実績が減少している。コロナ禍により、よりいっそう減少になるかと思えます。少しマンネリ化になっていると思いますので、利用者等の意見も聞き、新しい取組方法を考えていただきたいと思えます。	今後も、高齢者が身近に集える場所を設け、人と交流する機会をつくり、健康寿命の延伸と要介護状態になることの予防を図る事業として実施していきたいと考えています。
⑧	資料2	P7～P8 (4)地域資源の活用 (5)地域の活力の維持・向上	ボランティア活動(まちづくり、自治会長、老人クラブ、消防団etc)への投資増を検討願う。 高齢化、後継者不在で将来が心配である。	地域活動の担い手不足の声については、町としても認識しているところです。 補助金等の増については、現在検討しておりません。
⑨	資料2	P7～P8 (4)地域資源の活用 (5)地域の活力の維持・向上	空家対策の成功事例報告を発信願う。 大池まつり事業は良い。他ため池のクリーン作戦とレクリエーション(バーベキューやウォーキングetc)事業への助成金を検討願う。	空き家等対策の成功事例報告については、自治会長の研修会等で報告させていただいた経緯があります。今後とも、空き家バンクや活用支援等の補助についても、啓発等を行ってまいります。 助成金については、現在のところ新設する予定はございません。

質問	資料番号	該当ページ・内容など	ご意見・ご質問	町の考え方
⑩	資料2	P8 (5)地域の活力の維持・向上 5.交通アクセスの推進	地域公共交通会議が6回開かれていますが、内容等はどこで知ることができますか。	以下の手順で、会議の内容を閲覧可能です。 【稲美町ホームページ トップページ】 ⇒各課のページ「経営政策部 企画課」 ⇒交通政策 ⇒令和3(2021)年度 地域公共交通活性化協議会
⑪	資料2	P9 (6)職員の能力向上 3.職員提案制度の推進	提案6.採用1の内容はどんなものでしたか。報酬を上げて、効果向上に努めてください。	提案内容は、住民サービス向上に向けた施設の改修や備品の設置に関する提案が3件、職員の事務に関する提案が3件ありました。そのうち、採用された提案は、「新館2階に待合イスの設置を」という内容です。報酬はなく、採用された提案は町長からの表彰としています。
⑫	資料2	P9 (7)行財政システムの見直し 2.効率的な機構への改編	神戸新聞の東播の面、稲美町の記事が少ないと思います。記者発表、資料提供等に努めて、情報発信をお願いします。広報担当者の増員をお願いします。1名⇒2名に。	町内のPRも含め、情報発信の提供に努めます。稲美町のPRについては、各事業毎に担当課がそれぞれの課で責任をもって発信している状況です。
⑬	資料2	P10 (7)行財政システムの見直し 18.幼稚園3歳児の受入れ	幼稚園3歳児の受入れは、希望者全員が受入れしてもらえている状況ですか。	現在のところ幼稚園3歳児の受入れは希望者全員が受入れできる状況です。
⑭	資料2	P10～P11 (7)行財政システムの見直し 18.幼稚園3歳児の受入れ 19.放課後児童クラブ6年生まで受入れ 33.子育て拠点施設の整備	子育てに悩んでおられる方が相談に行ける施設はできつつあると思います。そこで親身になって話を聞いてあげたり解決策を提示できる人材がもっと増えてほしいと思います。	令和4年度の新規事業としまして、こども家庭総合支援拠点事業やいなみっこママサポート事業などを実施するとともに、引き続き子育て環境や子育て支援の充実に努めてまいります。